

これから始まる
「全日本」ブランドの再構築
~2nd Season~

2018年6月16日（土）O-Forum
2019/2020全日本大会プロデューサー
NishiPRO 西村徳真



2019-2020年の 全日本大会基本計画

ポイントは2つ

- 秋開催
- 全日本ミドルと2日間大会

なぜ秋開催？

- 春は新歓、夏は猛暑、冬は積雪。
- 集客の可能性、競技者のコンディション、利用できるトレインを考えると秋がもっとも合理的

なぜ全日本ミドルと2日間？

- 参加者数を増やし、運営リソースを集約して競技・演出に集中投資するため
- 全日本ミドルの権威向上も併せて解決

2019年は

- かねてより全日本ミドルに立候補していた滋賀県協会に西村が打診し、全日本ロングと2daysにする方向で調整済
- 基本計画が了承され次第、具体的な運営体制を詰めていく予定

2020年は

- 開催地を公募予定。
- リメイクしたいけど、いろいろな事情で出来ていないテレインをお持ちのクラブはぜひご検討くださいm(__)m

2021年以降

- 2019-2020の実績を鑑みて、もし成功と言えるなら、秋開催と全日本ミドルとの併催を規約化することを提案したい。

あれ、2018年度大会は？

- Aクラス以下は今回ですでに2018年度基準の年齢で判定されているため大きな問題はない
- しかしEクラス、特に20Eクラスの最後の年になる選手には多大な影響がある
- でも、
 - ・準備期間が短すぎて十分な質を確保できる見通しが無い。
 - ・多くの競技者にとっても供給過剰
- のため、西村の責任下で開催は困難...
- 該当選手の意向次第では別枠組みで開催を検討？

運営体制

- 山川体制下では人事・資材・渉外・地図等かなりの部分をプロデューサが行っている
- 西村体制下ではできるだけ開催地のクラブチームに主体的にかかわってもらおう方向で進めたい。

運営体制

- かつての県協会丸投げではなく、プロデューサーが抱え込むでもなく、
- 大会の要求水準を示し、理想を掲げ、それに必要なリソースをやりくりすることがプロデューサーのミッション

具体的には

- **地元渉外：** 開催地のクラブ
- **運営中枢部：** 上記のクラブに可能な範囲で。過負荷になる部分は外部エキスパートを招聘
- **試走・当日スタッフ：** 開催地近隣の学生クラブに応援を要請



これからの課題

公認大会が少なすぎる！

公認大会がないと全日本E権を得る機会
が得られず、全日本エリートが盛り上
がらない

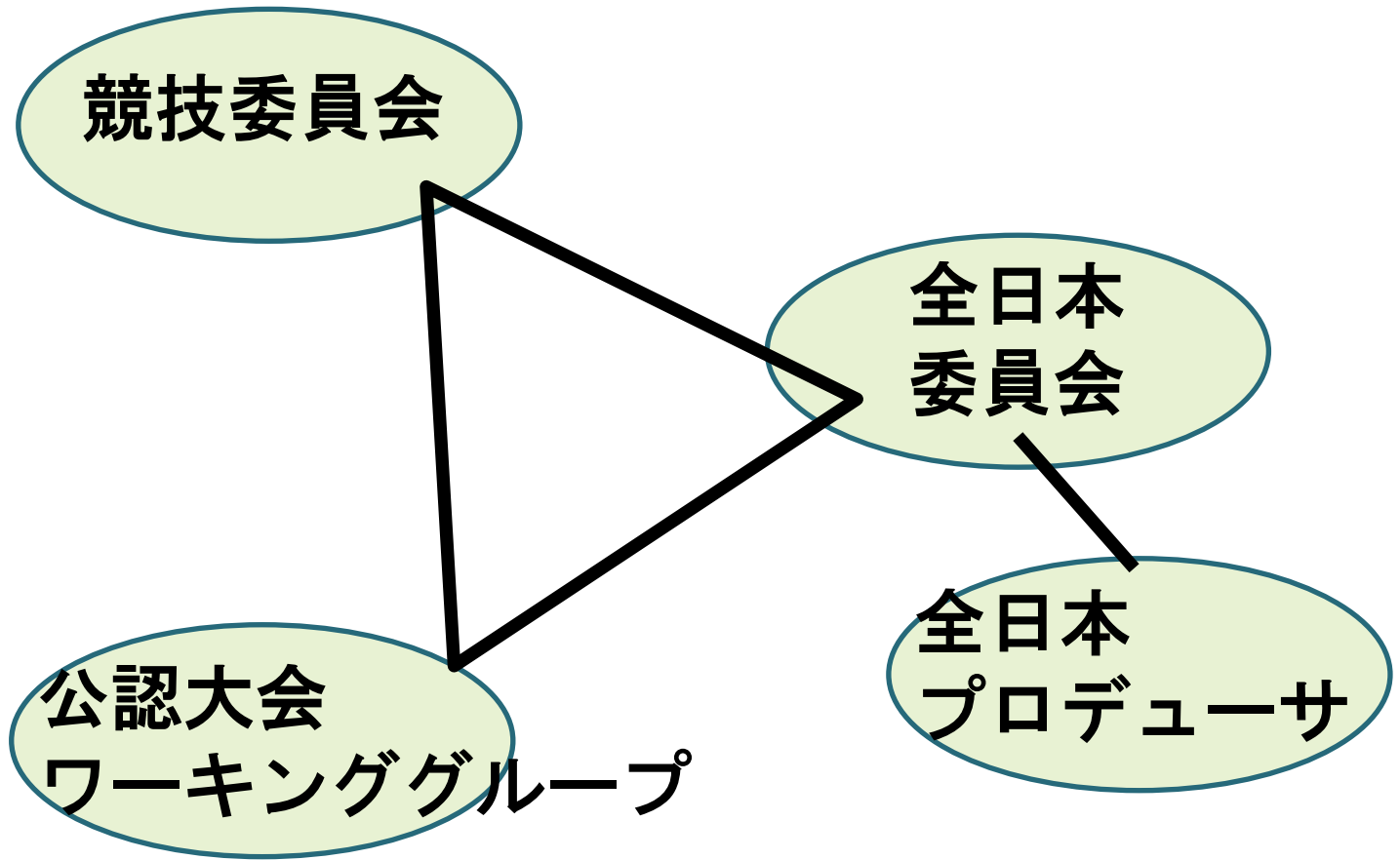
→公認大会ワーキンググループが発足、
絶賛議論中（西村も入ってます）

→この後定食屋でミーティングやるの
で物申したい方はぜひご参加ください。

E権ルールの整備

- ・ただでさえ公認大会が少ない中で公認E権＋全日本E権の2段階があるとますます全日本エリートが遠のく
 - 競技委員会で議論中（らしい）。
 - 全日本プロデューサーも混ぜてー

部署間の連携が必須！





2019年度大会で
こんなことやりたいな—
(まだ思いつき)

ミドルロング2日間総合表彰

- 合計タイムで各クラス1位を表彰。
- チャンピオンウェアを贈呈！来年度大会で着て出走もらう。

クラブ表彰

- 今年のクラブカップ前日にトータス主催でクラブ対抗の個人戦を企画中
- その計算ロジックを流用させてもらってクラブ単位の順位付けと表彰

ロングエリートスタートリストを前日発表

- ミドルの上位1-4位をAシード、5-8位をBシード、9-12位をCシードという風に規定しておき、ミドル表彰式後にスタート順抽選
- 速い選手が終盤に次々タイムを更新する展開を期待！

競技面以外の魅力

- ノープラン
- せっかくの2日間大会なので、競技面以外にもみんなが来たくくなるような仕掛けをしたいですね。